

ジャクリーン・マッケンジー
ジョン・リンチ

マイケル・ライマー 第1回監督作品

エンジェル・ベイビー

Angel Baby

'95年オーストラリア・アカデミー賞
7部門独占!!

作品賞 / 監督賞 / 主演女優賞 / 主演男優賞
脚本賞 / 撮影賞 / 編集賞

私を強く抱きしめて……ふたりがひとつに溶け合うまで。





★★★★……胸がキュンとなるリアルで
忘れられない映画。

ヘラルド・サン紙

将来を約束された驚異的なデビュー。
必ず若い観客から強く支持されるだろう。

ヴァラエティ誌

本当に誰かを愛すること

それはハリーとケイトにとって唯一の救いだった

明るくて優しく人気者のハリーは、自殺未遂の末に精神病に陥ってしまい、治療センターでグループ・セラピーを受けている。ある日、彼は新しくセンターにやってきたケイトに恋してしまう。とても繊細で美しい彼女は天使の存在を信じていた。突然のハリーの告白に戸惑うケイトだが、彼女の守護天使アストラルのメッセージ「You are my special angel (君は僕の天使)」に導かれて、ふたりは激しく愛し合うようになる。一緒に暮らすために仕事を見つけ、普通の生活を営み、ささやかな幸せを手にするふたり。ところがケイトが妊娠。周囲の反対をよそに薬物治療を止め、危険を冒しても赤ちゃんを産もうと決意するふたりだが……。

病んだ精神と愛の葛藤

『ベティ・ブルー』『奇跡の海』に続く狂気の愛

他の人より感情が強すぎたり純粋すぎるために、より激しい愛を求め、破滅的な方向に突き進み、やがて訪れる悲劇。その狂気へと落ちていく恋人たちの激情に、究極の愛の美しさが宿る。精神分裂病……しかも非常に軽度なボーダーレス症候群。自分に正直に生きることが難しい現代社会において、狂ってしまったのは人なのか社会なのか。本当に誰かと愛し合うことを夢見てはいけなのだろうか。『エンジェル・ベイビー』は生きることに幸せを感じる安住の地を求めて困難に立ち向かう恋人たちの、美しくも悲しい、ビターズweetな愛の冒険物語です。

監督・脚本：マイケル・ライマー

主演：ジャクリン・マッケンジー／ジョン・リンチ

1995年／オーストラリア／105分／カラー／ドルビーステレオ

サントラ盤：BMGビクター 協力：WEAジャパン 後援：オーストラリア大使館

提供：オンリー・ハーツ+レントラックジャパン 配給：オンリー・ハーツ

安住の地を求めてさまよう恋人たちの魂に木霊する スピリチュアルで暖かい映画音楽

「映画で描かれた都市とは対照的な、暖かい、エスニックな音楽を求めていた。」世界的に成功を収めたエンヤ、ピーター・ガブリエル、ブライアン・イーノ、デイヴィッド・バーンから、『デッドマン・ウォーキング』の映画音楽で知られるパキスタン人ヌラット・ファティ・アリ・ハーン、U2のボノの朋友で『ロミオ+ジュリエット』『バスキア』への参加から最近映画音楽で注目のギャビン・フライデー、そしてエスニックなオーストラリアの伝統音楽と8か国のミュージシャンが映画音楽に参加。無国籍で心地よいサウンドが傷ついた魂たちの映画を優しく包み込む。

エンジェル・ベイビー
サントラ盤：BMGジャパン

エンヤ/ウォーターマーク
発売：WEAジャパン
販売：ワーナーミュージック・ジャパン
※使用曲「ON YOUR SHORE」収録



『シャイン』『ピアノ・レッスン』『プリシラ』 今、オーストラリア映画がホットで新鮮

「こ8年あまりで、オーストラリアは良質な映画を、フランスのヌーヴェルヴァーグの3倍ぐらいいは送り出してきた」南半球に位置する不思議の国オーストラリアから続々と才能が溢れ出る。「ロミオ+ジュリエット」監督バズ・ラーマン、「ピアノ・レッスン」監督ジェーン・カンピオン、「ブレイブハート」監督・俳優メル・ギブソン、そして今年のアカデミー賞の覇者「シャイン」。「ラブ・セレナーデ」「ラブ・アンド・カタストロフィー」など20～30代の新人監督の進出も目覚ましい。世界中の映画人が注目のオーストラリア映画界で1995年オーストラリアアカデミー賞7部門独占!! 新鋭監督マイケル・ライマーによるバワフルな究極の恋愛映画が誕生しました。

8/16土～29金 ロードショー

12:20/2:25/4:30/6:35

前売一般=1,400円 (当日一般=1,700円 当日学生=1,400円)

ホワイトティ泉の広場上がる 東へ5分

扇町ミュージアムスクエア
06・361・0088